道路分野におけるインターネットの活用

『北の道ナビ』と『北の道の駅』開設

北海道開発局 道路計画課 北海道開発局 道路計画課 開発土木研究所 防災雪氷研究室 (財) 北海道道路管理技術センター 和田 忠幸 太田 広 加治屋安彦 石塚 健司

1. はじめに

近年の急速なインターネットの普及に伴い、様々な組織で数多くのホームページが開設・運営されている。郵政省の平成11年度版通信白書によると、わが国における平成10年度のインターネット利用者数は、約1,700万人と推計されており、2005年には世帯普及率が42%に達すると予想されている。近い将来、現在の新聞やテレビ等と同様の身近なメディアとしての地位を固めるであろうと見られている。

このような背景の下、道路管理者で組織する「北海道道路情報化研究会」や「北海道地区『道の駅』連絡会」が『北の道ナビ』、『北の道の駅』といったホームページを各々この7月と6月から運用開始した。これらのホームページはいずれも(財)北海道道路管理技術センターが事務局を務めており、開設して約4~5カ月が経過しているので、取り組みの経緯やその利用状況等について報告することとしたい。



2. ホームページ開設の経緯

(1) 『北の道ナビ』

1)「北海道道路情報化研究会」

北海道道路情報化研究会は、北海道幹線道路協議会を構成する各道路管理者(北海道開発局、北海道、札幌市、日本道路公団北海道支社)の道路情報化の関係者をもって組織され、北海道における道路情報化への対応について、インターネットの活用を始めとして幅広く検討することを目的として設立されたものである。

2) ホームページ開設の目的

道路利用者の情報ニーズに配慮し、各行政機関のホームページが有する道路情報へ利用者が簡単にたどり着けるサービスを実現するとともに、効率的な道路広報を図り、さらにパブリックインボルブメント(P)の一環として、道路行政のマーケティングツールとしての検討を進めること等を目的として開設したものである。

3) ホームページの概要

平成11年7月9日に北海道道路情報化研究会のホームページとして開設された『北の道ナビ』(http://navi.h-road.gr.jp/)は、道内の道路に関連する情報を体系的にとりまとめた総合案内の実験サイトとして位置づけられている。提供している情報は、北海道内の簡易な道路マップや道路に関する問合せ先、冬期の通行止め区間等、北海道内を運転する際に便利なもの、また、リンク先として北海道幹線道路協議会を構成する各道路管理者や、気象機関、「道の駅」やオートリゾート、高速道路のサービスエリア等、道路に関連する組織のサイトが列挙されている。

リンク先のひとつである(財)日本気象協会北海 道本部のサイトでは、道内各地の天気予報をはじ め、峠の天気予報もきめ細かく知ることができ、 道路管理者が提供する現在の峠情報と合わせて確 認することにより、ドライブの安全性向上にも寄 与するものと思われる。

図 -1 『北の道ナビ』(北海道道路情報化研究会)

(2)『北の道の駅』

1)「北海道地区『道の駅』連絡会」

北海道地区「道の駅」連絡会は、北海道において「道の駅」を設置している市町村と道路管理者などから構成され、「道の駅」の運営に関する情報交換やスタンプラリーの企画・実施等を行っている団体である。このうちホームページの作成・運営は、連絡会の情報化ワーキング・グループ(以下WG)が担当している。このWGは、10市町村と道路管理者から構成され、インターネット等を活用して「道の駅」の情報交流環境を整え、地域振興に活かす方策について検討することを目的に、平成10年6月に設立されたものである。

2) ホームページ開設の目的

インターネットを通じて、タイムリーできめ細かな情報発信を行うことにより「道の駅」の利用促進と地域の活性化をより一層進めることを目的に開設したものである。

3) ホームページの概要

平成11年6月1日に北海道地区「道の駅」連絡会の公式ホームページとして開設した『北の道の駅』(http://www.jsd.ne.jp/michieki/)では、各「道の駅」の施設や営業時間を始めとして、イベント情報やスタンプラリーの案内等を提供している。また、年4回印刷・発行されている「北海道道の駅 NEWS」の特集部分も掲載し、「道の駅」のPRの強化に努めている。また、イベント情報の検索システムやメールによる直接的な情報提供のほか、来年以降のスタンプラリーでは、チャレンジブック自体をサイト上からファイルとしてダウンロード可能にするシステムなどを現在検討中である。



3. 告知活動の実施

これら両ホームページを一般のユーザーへ告知するため、事務局では新聞や FM を媒体としたパブリシティ活動や、パンフレットやカレンダーカードの製作・配布などの他、イベント「旅・風景@北の道再発見〜おしえてあげたい道がある〜コンテスト」*1とのタイアップや、昨年度の「道の駅」スタンプラリー参加者を対象としたメール配信も実施している。

なお、『北の道ナビ』 開設後は、『北の道の駅』 と相互にリンクを張り、ホームページ訪問者の増加を図っている。

4. 利用状況と今後の検討課題

現時点は、両サイトとも公開後の時間経過が4~5カ月程度と少ない段階であるが、平均日当たりアクセスは『北の道ナビ』で200ページビュー、『北の道の駅』で50ページビューとまずまずの滑り出しである。

今後、両サイトは、アクセスログやユーザーからの意見メール等に基づくサイトの適正化や、サイト管理を容易にするシステムの導入による管理の効率化を図っていくほか、より魅力的なコンテンツの発掘に努め、ユーザーに愛されるホームページを目指したい。

5. おわりに

事務局を務める(財)北海道道路管理技術センターとしては、これら2つのホームページの運営を通じて道路を利用する方々との交流を密にし、時代のニーズを的確に把握するとともに、北海道外の方々へも北海道の道路のすばらしさを積極的にアピールして、地域間交流の活発化に寄与できればと考えている。

これらのホームページをご覧になった方々のうち、一人でも多くの方がこれをきっかけに北海道の道路や地域に魅力を感じて、「この地域は面白そうだぞ、ちょっと出かけてみようかな」と思っていただければと願う次第である。関係各位の一層のご指導・ご協力をいただければ幸いである。

※1:北海道の旅の思い出等を写真とエッセイで募集したイベント

図 -2 『北の道の駅』(北海道地区「道の駅」連絡会)